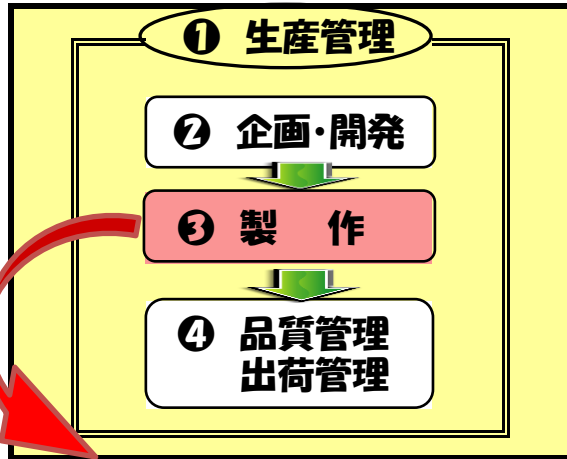




◇「ものをつくる」産業、「製造業」のオシゴト特集！

新年度が始まりました！今回は、高校生が最も就職する産業、「製造業」の特集です。つくるものは自動車・工作機械・医療品・食料品等と色々あります。製造業は、高校生が多く就職する業界です。どんな流れでどんな職種があるか考えてみましょう。職種は大まかに下記の4つに分けられます。



【①生産管理】…工場の中の司令塔。ライン作業を行いながら、ライン全体の流れをチェック。工程管理、納期管理やラインで働いている人の心身の健康状態まで見ていくことも必要です。

【②企画・開発】…取引先等のニーズに合わせて新しい技術・製品をつくりだし提案していく頭脳集団。専門知識、技術等必要です。

【④品質・出荷管理】…出来上がった製品の検査、キズ・ほこりの有無や正常に作動するか等を確認します。取引先からのクレームに対応することもあります。

【③製作】…製造・加工・組立等職種はいろいろあるけど、高校生の製造イメージはこの部分が多いと思います。工場での作業が中心で同じ作業を繰り返し無駄なく効率よく行う持続力や注意力が求められます。チームでやることも多いので協調性やコミュニケーション能力も必要です。



●製造業の仕事の特徴は？

製品や作業内容によっては夏場は40℃を超えたり、冬場は6℃くらいの職場の環境もあります。精密機器や食品など、年中一定温度下のクリーンルームでの作業の場合もあります。それから、原材料や油の臭い、それに騒音があることもあります。あと、夜勤がある場合もあるので求人票の内容をよく調べましょう。

※職場環境をよく理解するためには、事前の職場見学が重要です！！

◇先輩からのアドバイス

氏名：籠谷 英輝 さん
(平成24年3月 郡上高校卒)
大同メタル工業 株式会社
岐阜工場 勤務



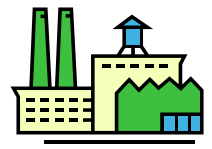
☆高校時代について

高校時代は、文化祭や体育祭などの行事で、率先して前に出て、自分を高めました。就職にあたっては、面接試験で何を質問されても答えられるようにひたすら練習をしました。

☆現在の仕事、会社について

自動車や建設機械のエンジン用軸受の製造の仕事をしています。この仕事は、日本や海外の大手メーカーの製品を製造しているので、自分が造った製品が世界中で使われるということにやりがいを感じます。就職先を決めた理由は、求人票の内容や周りの方の薦めもあり、会社見学をして総合的に判断し決めました。勤務先は社員同士の距離感が近く、とても雰囲気が良いです。また地元に残ったので、実家から通うことが出来、出費も少なく、給料の多くを趣味にまわしています。住み慣れた土地は、精神的に安定感があります。

☆皆さんへのメッセージ



今回の就職活動で内定した会社が、もしかしたら定年までお世話になる会社になるかもしれません。できるだけ多くの企業を見学して、比較して、自分が納得する会社に入れるように最後まであきらめず、頑張ってください。

<編集後記> 新年度に入り、保護者の方も慌ただしい日々を過ごしてみえると思います。高校では、入学当初から、生徒に進路に対する関心を持たせ、職業適性診断やインターンシップ、セミナーなどを通して、進路実現に向けた準備をしていますので、お子さんの通う高校のスケジュールや取り組みについても理解しておきましょう。(A)